

第二章

第一節

江戸時代の暮らし

～ごちそうは、1日5合の美味しいお米～

江戸時代の食生活は、お米が中心。今のような贅ぜい沢たくなおかずはほとんどありませんでした。そのかわり、男性1日の米消費量は、なんと5合(800g)! しかも、江戸の初期までは、一汁二菜いちじゅうにさいの朝食と夕食の1日2食だけでした。

庶民はたいてい長屋住まい。灯りに使うロウソクや油は高価なため、夜ふかしはできません。日の出とともに目覚め、日没とともに寝る、といった暮らしをしていました。

美盾十二史



申
與次郎
あふぐちやう
兄が愚直の孝行の心も
清し堀川の水邊が節義の
道行の目當めたる聖護院
杜身の花洛を逢出の曲真
猿愛の兄身弟の心
柳下亭種員筆記



彫工房次郎

勇齋
國方
自
所藏
己卯

美盾十二史 申 与次郎



えほんいまようすがた
絵本時世粧 2 巻 . [1]

枇杷島橋

君山

日本詩選
訪古城西
路琵琶空
有名湜湜
橋下水猶

鳳四絃聲

合帖

鬼嶽

うむき

海生

風臺

人脚

遊

茶の

沙

れ

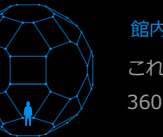


尾張名所図会(枇杷島橋)

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.